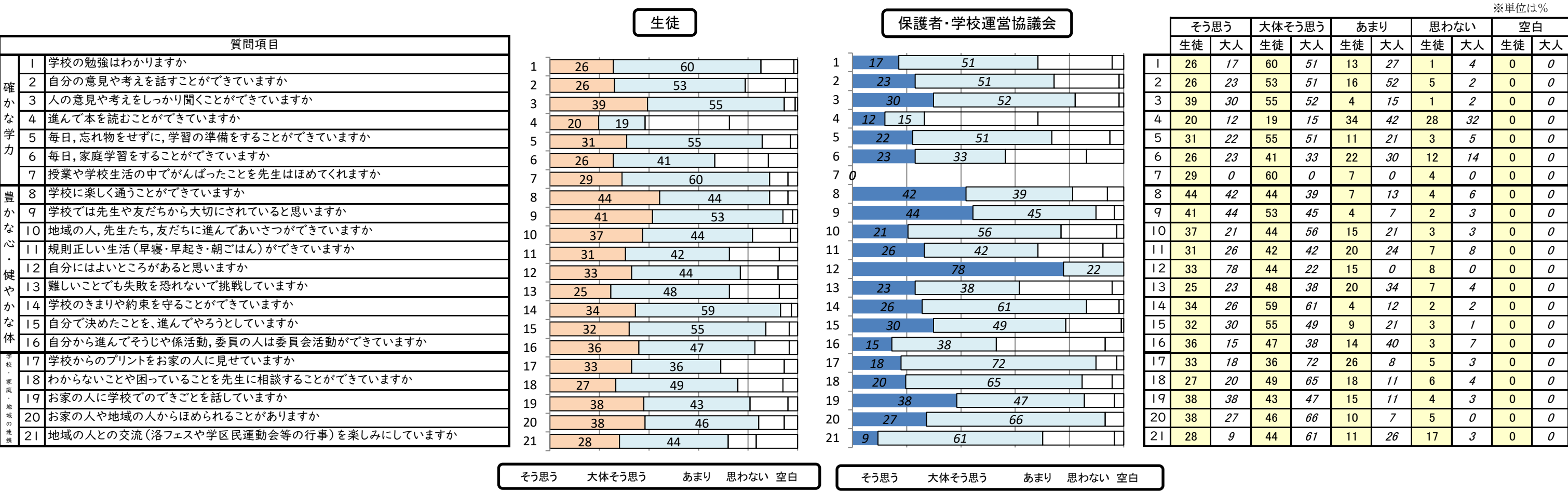


○目指す子ども像（ブロック共通） 夢の実現に向けて共に楽しく学び、たくましく伸びていく子の育成  
重点目標（児童生徒の共通する課題より）（1）コミュニケーション能力を育成するための「言語活動」を充実する。～つながる・深める・伝え合う～ （2）児童生徒が主体的に活躍できる場面を設定し、自己肯定感や自己有用感を高める。  
○洛西中学校めざす生徒像 ①「学ぶ楽しさ」と「わかる喜び」を実感し、夢や希望に向けて主体的に学習に取り組む生徒〈知〉 ②自分や仲間の良さや違いを認め尊重し、支え高め合える生徒〈徳〉  
③ 命を大切にし、健康で安全な生活を心がけ、明るくいきいきと生活できる生徒〈体〉



「確かな学力」（アンケート番号①～⑦）

「豊かな心・健やかな体」（アンケート番号⑧～⑭）

「学校・家庭・地域との連携」（アンケート番号⑮～⑳）

1. 基礎的・基本的な知識・技能の定着  
アンケート1「学校の勉強はわかりますか」については、「そう思う」が26%、「だいたいそう思う」が60%で、86%の生徒が「概ねわかる」と回答しています。この結果は、前期より「そう思う」が7ポイント増加し、授業において既習の学習内容との関連付けを意図的に繰り返している、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図っています。また、思考・判断したことを表現し伝え合うことにより、主体的に学ぶ意欲を高め、粘り強く学びに向き合う力を育成できるよう授業改善に取り組んでいます。

2. 思考力・判断力・表現力の向上  
アンケート2「自分の意見や考えを話すことができますか」については、「そう思う」「だいたいそう思う」の合計が79%で、前期より1ポイント減少したものの、昨年度の同時期より9ポイント増加しています。思考力・判断力・表現力が確実に伸びてきており、今後も継続して資料等を読んで分析し、自分の考えをまとめ書くことで論理的な思考を高め、対話的な活動を通して自分の考えを話すことを習慣化できるように、日頃から取り組んでいきたいと思ひます。

アンケート3「人の意見や考えをしっかりと聞くことができますか」については、「そう思う」が39%、「だいたいそう思う」が55%で、94%の生徒が「概ね聞くことができる」と回答しています。思考力や判断力の土台となる。聞くことについては、前期と同様に継続してできており安定しています。

アンケート4「進んで本を読むことができますか」については、「そう思う」「だいたいそう思う」の合計が39%で、前期より1ポイント減少しましたが、読むことは思考力を豊かにすることにつながるため、教科や特別活動の中で改善を図り、読むことへの興味・関心を高めたいと思ひます。

3. 家庭学習の習慣化  
アンケート6「毎日、家庭学習をすることができますか」については、「そう思う」が26%、「だいたいそう思う」が41%で、67%の生徒が「概ね家庭学習に取り組んでいる」と回答しています。前期より6ポイント増加しました。自学自習の大切さを意識することが浸透してきたので、今後はより一層端末を活用し、ミライシードのドリルパークなどで自分に合った学習課題への取り組みを図っていきます。自分の目標を達成するために、家庭学習の習慣化に繋がられるように工夫していきます。

1. 自己肯定感や自己有用感の育成  
アンケート8「学校に楽しく通うことができますか」については、「そう思う」が44%、「だいたいそう思う」が44%で、88%の生徒が「概ね楽しく登校できている」と回答しています。前期より「そう思う」が4ポイント増加し、学校祭体育の部や文化の部等、生徒たちが活躍している取り組みが展開できたと思ひます。その中で互いの活躍を認め助け合ったりするなどから、自己肯定感や自己有用感を伸ばすことができました。今後も常に生徒に寄り添いながら仲間づくりを推進し、継続した指導と支援を行っていきます。

アンケート9「学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか」については、「そう思う」が41%、「だいたいそう思う」が53%で、94%の生徒が「概ねそう思う」と回答しており、前期よりも3ポイント増加しています。

アンケート12「自分にはよいところがあると思いますか」については、「そう思う」が33%、「だいたいそう思う」が44%で、合計は77%となり、前期より3ポイントの増加と、昨年度の同時期より1ポイント増加しました。着実に生徒の自己肯定感や自己有用感は高まってきているので、より一層生徒が主体的に活躍できる場面を意図的・計画的につくり、生徒会活動を中心とした生徒から提案していく場面を増やすことにより、さらに自信をつけさせていきたいと思ひます。生徒指導の3機能を活かした学校づくりを継続して取り組んでいきます。

アンケート15「自分で決めたことを、進んでやろうとしていますか」については「そう思う」が32%、「だいたいそう思う」が55%で、87%の生徒が「概ねそう思う」と回答しています。前期より「概ねそう思う」が1ポイント増加し、自ら挑戦したことが周りから認められて、成果を出せたことが自信へ繋がったと思ひます。

2. 基本的生活習慣の確立  
アンケート11「規則正しい生活ができていますか」については、「そう思う」が31%、「だいたいそう思う」が42%で、73%の生徒が「概ね規則正しくできている」と回答し、前期より4ポイント増加しました。成長著しい中学生期にバランスの良い食事を定まった時間にとることが大切であることを、保健だよりなどを活用して、生徒・保護者の啓発を行っていきます。脳を活性化させ学習効果を高めるために早寝・早起きを励行し、睡眠時間の確保ができるように働きかけていきます。

1. 家庭・地域との連携  
アンケート17「学校からのプリントをお家の人に見せていますか」については、「そう思う」が33%、「だいたいそう思う」が36%で、69%の生徒が概ね学校からのプリントを見せています。残り31%の生徒もきちんと見せられるように働きかけを継続していきます。また、すぐえるや学校ホームページも有効に活用し、学校の様子を伝達していきます。

アンケート19「お家の人に学校でのできごとを話していますか」については、81%の生徒が「概ね話している」、アンケート20「お家の人や地域の人からほめられることがありますか」については、84%の生徒が、「概ねほめられることがある」と回答しており、前期より3ポイント増加しました。親子のコミュニケーションは子どもたちの活力になり、子どもの主体的な判断とその行動があった時には、時を逃さずその場で褒めることが、自尊感情を高め自信をつけることに繋がります。大人が子どもたちをきめ細かく見守ることを通して、生徒と家庭・地域・学校の大人との人間関係がより一層強くなることにより、生徒の健やかな成長に結びつけていきたいと考えています。

アンケート21「地域の人との交流（洛西フェスティバルや学区民運動会等の行事）を楽しんでいますか」については、「そう思う」が28%、「だいたいそう思う」が44%と回答しており、前期より1ポイント増加しました。今後も地域の人たちとのふれ合いの場である地域行事を大切にし、地域行事に参加できるようになることを通して、地域社会とのつながりを強くしていきたいと思ひます。その中で周囲の大人への感謝の気持ちを育んでいき、地域に貢献できる人材を育てることに繋がっていききたいと思ひます。

2. あいさつの習慣化  
アンケート10「地域の人、先生たち、友だちに進んであいさつができていますか」については、81%の生徒が「概ね話している」と回答しており、今後も生徒会活動においても、全校での挨拶の取組を生徒が主体となって取り組んでいきます。